

ASAGOiNG

2017.12 no.6

Index

ASAGOiNG 2

朝来市の人と、まちと
地域おこし協力隊・中家宜嗣さん

ACTiNG 4

朝来市で活動する
NPO法人あさご創生プロジェクト

WORKiNG 5

朝来市で営む、働く
農〇(NOUEN)

AWAGAiNG 6

粟鹿地域

YOU ARE THE FUTURE OF OUR TOWN!

TAKE FREE



ASAGOING

朝来市の人と、まちと
地域おこし協力隊
中家宜嗣さん(山東町)

人生をおもしろく

ロックスターに憧れて

大阪府豊中市で生まれ、関西育ち。幼少期から自分に真っすぐで、中学生の時、伊丹に引っ越しをするも、友達と離れたくないとの思いから、絶対に受からないと言われていた豊中の高校を「受からんわけない!」と受験し、合格した。高校では軽音楽部に所属。ロックスターに憧れ、高校卒業後は音楽の専門学校に進んだ。「すごいことを教えてくれる。」そんな期待を抱き入った専門学校での授業は、思い描いていたものとは違った。1年生の時はほとんど学校に行っていない。しかしアルバイトをしながら、ギターの手伝いをしたり、ライブをしたり、その日々はギターと共にあった。

きっかけはあっけない

専門学校を卒業してからもバンド活動を4年程続けた。好きな音楽を集めて、曲が出来て、「好き」が詰め込まれた音楽に惹かれ仲間が集まってくれたらいい。純粋に音楽が好きで、音楽を楽しんでいた。その後、テレビやCMの効果音を制作する会社で働くことに。4年間働いたのち、フリーとしてローカルCMの音響製作など色々なことをやりつつ、バンド活動を再開した。そうして過ごしていたある夜の日、通っていたバーのマスターに強烈な一言を言われた。「お前、音楽やってんねんやったら嘘でもええから東京行け。」大阪から一歩も出たことのないおっさんに言われた時、火がついた。「なんでお前にそんな言われなあかんねん!」人の繋がりでつてを辿り、1人で東京へと行った。東京での日々はしんどかった。「生活するために仕事はせんなんし、ひと区切りつけよう。」

新たな人生の始まり

いつもずっとその人生には音楽があったが、楽しむことを忘れず、一生懸命に前へ前へと進んできたからこそ、音楽に対する執着はなかった。東京で過ごして数年後、楽器を売り払い、携帯関係の仕事に就いた。これがまた、人生が大きく動き出す入口だったのかもしれない。働き始めたこの会社で奥さんである知華さんと出会い、結婚。青森出身の知華さんの意向もあり、「子育てをするんだったら田舎がいいよね。」と地方での就職先を探すことに。そして東京で開催された全国様々な自治体が集まる移住フェアにも参加した。どのブースよりもフレンドリーな朝来市の「おいで!おいで!」にはまり、人の優しさと交流が盛んな事に惹かれ移住を決断した。平成29年4月移住。職業、朝来市地域おこし協力隊。「地域の人々が望んでいる事、その中で自分のミッションを掘り下げて見つけていきたい。そして“みんなで作る”を大切にしたい。」これまでもずっと心掛けてきた事を忘れずに。“どうせやるなら、おもしろく!”

最初からそこに特別な“したい理由”があるわけじゃないし、必要なわけでもない。ただそれが好きということが何にも変えられない強い原動力になっていた。ある人との出会いがきっかけで昨日まで思いもなかったような今日が始まることもある。いつだって直面した“今”に全力で取り組む日々の中で、その道に進んでいく“理由”が見えてくるんじゃないか。そうやって人生はどんどん開けていく、だからおもしろい!ということの中家さんから教わった。



粟鹿地域自治協議会

【所】兵庫県朝来市山東町粟鹿870-1
【問】079-676-2720

中家夫妻の粟鹿での生活

初めての“田舎で暮らす”ということ。最初は不安もあった朝来暮らしも1ヶ月で慣れたそうです。さてさて、その生活ぶりとは? 2人から届いた写真とともにお届けいたします!



1. ご近所さんから、美味しく新鮮な野菜を頂くことも。今日は何を作ろうかな〜?
2. 移住後すぐに念願だった犬を飼い始めました。自然豊かな景色を見ながらのんびり散歩。
3. ふれあい盆踊り大会(P6) オリジナルTシャツの販売で「なんか面白そうなイベント」感の演出!
4. 普段は粟鹿地域自治協議会のデスクで事務作業などに動いています!
- 5&6. 江戸時代から続く青森の伝統工芸「こぎん刺し」。刺し子の一種で、布目を奇数目拾いながら刺すのが特徴です。
7. こぎん刺しワークショップの様子。おしゃべりしながらの楽しい時間です。
8. ワークショップで皆さんが作った作品。作品を眺めながらの、皆さんとのこぎん刺しトークが楽しい!
9. 市内各地の音楽イベントに出演。「ESTA FARMER'S MARKET」にエレキギターで参加!
10. 自宅スタジオ公開! CDJ、ミキサー、スピーカー! 演奏だけじゃなくイベント主催も企んでいます!
11. 自宅スタジオ公開! 音楽制作ソフト! かなり古いソフトですが、まだまだ現役です!
12. こんにちは赤ちゃん! 2人の宝物。我が子のあまりの可愛さに、目尻が下がりはなすです!

TAKASHI NAKAIE

どんな場面でも、いつも「なんとかなる!」と背中を押してくれる奥さんの知華さんと二人三脚で奮闘する毎日。そんな2人のもとにこられた大きな喜びがありました。Happy Birthday、すみれちゃん、無事に生まれてきてくれてありがとう。3人家族となった中家ファミリーの物語はここ、朝来市で紡ぎ始めています。

起床	6:30	起床	6:30
犬の散歩	7:00	朝食の支度	7:00
朝食	8:00	朝食	8:00
出勤	9:00		
	10:00	家事	10:00
仕事	11:00		
	12:00	昼食	12:00
昼食	13:00		
	14:00	お茶タイム	14:00
	15:00	こぎん刺し	15:00
	16:00		
帰宅	17:00	夕食の支度	17:00
犬の散歩	18:00		
夕食	19:00	夕食	19:00
	20:00	自由時間	20:00
自由時間	21:00	団らん	21:00
団らん	22:00		
就寝	22:00	就寝	22:00

CHIKA NAKAIE

青森の伝統工芸である「こぎん刺し」が得意な知華さん。趣味でやっていたが、朝来にきてからはワークショップを依頼される事も! そんな中で「朝来市でものづくりをされている方や、その繋がりで知り合った方々と一緒にどんどん新しいものを作っていきたい。」との想いが強くなってきたそうです!



ACTiNG

朝来市で活動する

NPO法人
あさご創生プロジェクト
(和田山町)

MORE INFO

Mail >> info@asabura.jp
HP >> www.asabura.jp
Facebook >>
www.facebook.com/asabura.jp

(左→右)
古屋敷和也さん/宮谷泰史さん/
篠原諒太さん

NPO法人あさご創生プロジェクトは3年前に商工会のネット部会に所属するメンバーで立ち上げられました。朝来市の総合情報発信ポータルサイト“あさぶら”の企画・運営や、ポスターやチラシの制作からイベントの運営、朝来特産品の販売促進など朝来市の地域活性化を目指した活動をおこなっています。「ネットを駆使し、広い世界の人に朝来を発信し、人と人、人と場所、人とモノを繋いでいく」その熱い想いに触れました。

なぜNPOで情報発信を担おうと?

古屋敷さん:朝来市の人口減に伴い、朝来で作られているものは多いのに、消費量は減少傾向という課題があり、外に商品の魅力を発信することが必要となりました。しかし商売もグローバル化の時代。競争の中で選んでもらえるように、どんな環境で作られているのか、朝来の情報を同時にPRすることが大切だと思ったのです。またJC(青年会議所)の活動に参加をする中で、「地域を盛り上げていきたい」との思いが強くなりました。

情報発信にこだわる理由は?

宮谷さん:朝来市に限らず、田舎の人は自分が作ったものの良さを大きな声で売り込むのが苦手だと思うんです。でも流通やスマホが発達し、自ら声を上げないと、商品の選択肢どころか存在にすら気付いてもらえない。だから「この良さをもっと皆に教えてあげましょうよ!」と背中を押せばと思っています。ま

たその為に「魅力はキチンと伝える」こと。デザインや企画を用い、モノに想いや物語を乗せたパッケージやPR提案ができたなら。

— 新メンバーとして一員となった篠原さんがポータルサイト“あさぶら”の記者として目指すもの

篠原さん:ポータルサイト“あさぶら”では、朝来市の暮らしの情報や観光情報を掲載したり、朝来市の写真を市民の方に投稿してもらったりしています。四季の写真を撮って載せると、特に市外に移り住んだ朝来市出身の方から「なつかしい」という反響がありました。そうやって、ただ情報を発信するだけではなく、「あさぶら」で意見を交換したり、思い出を話す場所になっている。そんな場所でありたい。そしてこれからも、とにかく現地に足を運んで情報を集めたい。綺麗な作っただけではなく、より生活感があって、よりリアルな情報を発信していきたいです。

「このプロジェクトは、ネットで、対面で、モノを介して、コミュニケーションに関わることに根っこがある」という宮谷さんの言葉が印象的でした。目指しているのは双方向のコミュニケーション機能があること。「発信を通して繋がりを生み出していく」そんな意気込みを感じました。現在情報発信をする仲間を大募集中です!写真を撮ることや文章を書くことが好きな人はぜひ集まってください!



WORKiNG

朝来市で営む、働く

農〇(NOUEN/和田山町)

農業を通じて人を笑顔にする

— 田中正広さん(代表取締役/50代)

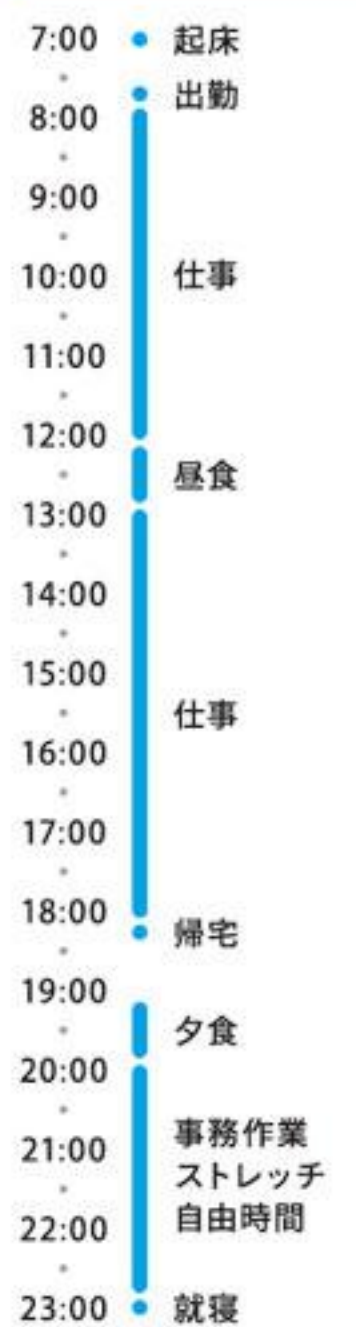
今や岩津ねぎの生産量1町2反。さらにお米や丹波の黒豆、玉葱の苗などを生産しているNOUEN。「生まれ育った地域に、恩返しをしたい人たちに何ができるか」田中さんの故郷に対する想いから始まった。目指してきたのはNOUENのメンバーが“ネクタイを締めた百姓”であること。それは、ずっと畑にいては、農業を1つのツールとして色々な人に出逢ってほしい、様々な事を自分の力で考え出来るようになってほしい、やりたいことにチャレンジしてほしいとの願いから。この4年、歩んだ道は楽ではなかった。でもいつも真っすぐに、本気で、農業に人に向き合ってきたからこそ人の期待や信頼が集まる場所となってきた。そこからまた新たに人が繋がっていく。「これからもそういうNOUENでありたい。」そう、自身もみんなも喜びの笑顔が溢れる、そんな場所を目指して。

出会った人を大切な仲間へと変えながら

— 野崎由美さん(農園長/30代)

朝来市で農業をするきっかけは、社長である田中さんの田んぼでの田植えや稲刈り体験が始まりだった。全く違う業務から農業に就き5年経った今、トラクターやコンバインなどの大型機械を操る様に乗りこなすだけでなく、“鍬”もまるで自分の手かのように使いこなす。「田畑を1つのキャンパスだと思って、自分の作品をつくるような気持ちで」それが仕事をする上でのポリシーだ。さらに農業をする上でも、人と関わることが一番楽しいと言う。「朝来にいて、人としての深い関係が築いていける。よく見てくれていたり、人を通じて自分を気付かせてもらえるんです。」関わっていくと誰もが野崎さんの応援者になる。その笑顔と一生懸命さに惹かれ、手取り足取り助けてくれる。そうやって彼女はきっとこの地域をも耕してくれる。朝来にたくさんの仲間とともに。

野崎さんの一日



※冬期のスケジュール

営む人
田中さん



働く人
野崎さん



Let's communicate!



AWAGAiNG

粟鹿地域(山東町)

地域を抱く、粟鹿山
そこに住まう人々を
優しく包んで守ってくれる

粟鹿地域は自然いっぱいのエリアです。高くそびえる粟鹿山は古くから地域と、そこに暮らす人々にとってのシンボル。粟鹿川と柴川の豊かな水は田畑を潤し、四季折々の景観を生み出しています。そして、歴史ある粟鹿神社では古くからの伝統芸能が奉じられ、旧小学校での盆踊り大会は若者のアイデアと企画力で過去最大の動員を記録。新旧の文化的行事が人々によって営まれています。地域に点在するカフェなどでは、新しいつながりが生まれています。粟鹿山に抱かれたこの地域、ぜひ一度訪れてみてください。



シンボル、粟鹿山

粟鹿に住む人にとって、粟鹿と言えば粟鹿山(c)!!それぞれ粟鹿山を見るスポットがあり、みんな粟鹿山を愛している。粟鹿山は、標高約962mで、登ると2時間、下山で1時間かかる。粟鹿山に登れる機会を作るため粟鹿山の登山イベントを近年始めた。一度故郷の粟鹿山に登ってみてはいかがだろうか。



子どもも大人も自然を体験できる場所

西宮市立山東自然の家(d)では5月~11月まで自然学校として使用されている。そして冬場では忘年会・同窓会・新年会と地元の人々が利用できる 期間もある。また、子ども会などでの野外炊飯やスポーツクラブの合宿など市内の団体の利用も多い。さんどうアウトドアビレッジ(e)では川沿いにテントやログハウスを借りることができ、そこでBBQなどを楽しめる。実は朝来市民はすべて使用無料。休日予約は人気なのでお早めに…。少し歩いてマイナスイオンを感じられる雄滝・雌滝(f)にも行ってみよう!



みんなの粟鹿川と柴川

粟鹿川(g)と柴川(h)は、春になると川沿いで桜がきれいに咲いており、初夏には蛙が観られてとても綺麗な。川遊びをすると川の生物に触れられて自然を楽しむことができる。子どもたちの声が響き渡りどかなひとときも。今、粟鹿川に入って遊ぶ企画も考案中である。お花見のスポットは柴川の親水公園だ。お弁当を持って家族や友達と楽しもう。



粟鹿の地域に溶け込んでいるたくさんの神社

粟鹿地域の代表的な神社といえば粟鹿神社(b)と當勝(まさかつ)神社(i)。粟鹿神社は古くからある但馬国一の宮。全国各地や外国の方も参拝に来る。10月17日の「サアゴザレ」の日には勅使門が開く、とても由緒ある神社である。當勝神社は字の通り勝ちが当たる神社だ。秋には真っ赤な紅葉と本殿の組み合わせがとてもきれい。本殿にある龍の彫刻は大阪城をつくった3大工のうちの一人の子孫が彫ったらしい…。子どもたちが夜12時から山の神様にお供え物をもって當勝神社の杉の木にお供えをする伝統行事も行われている。粟鹿地域内には、他にも由緒ある神社があり、神社巡りをしてみたいだろうか。

ふれあい盆踊り大会

旧粟鹿小学校(a)で開催される盆踊り大会。その始まりは盆踊りを踊れる人が少なくなってきたことから。盆踊りでは、今年100名以上の参加者。事前の練習もできるので盆踊りを踊ったことがない人も安心。盆踊り大会は子どもから大人まで楽しみ、キッズランドや屋台がある。やぐらを囲んでみんなでLet's Dancing!



サアゴザレ

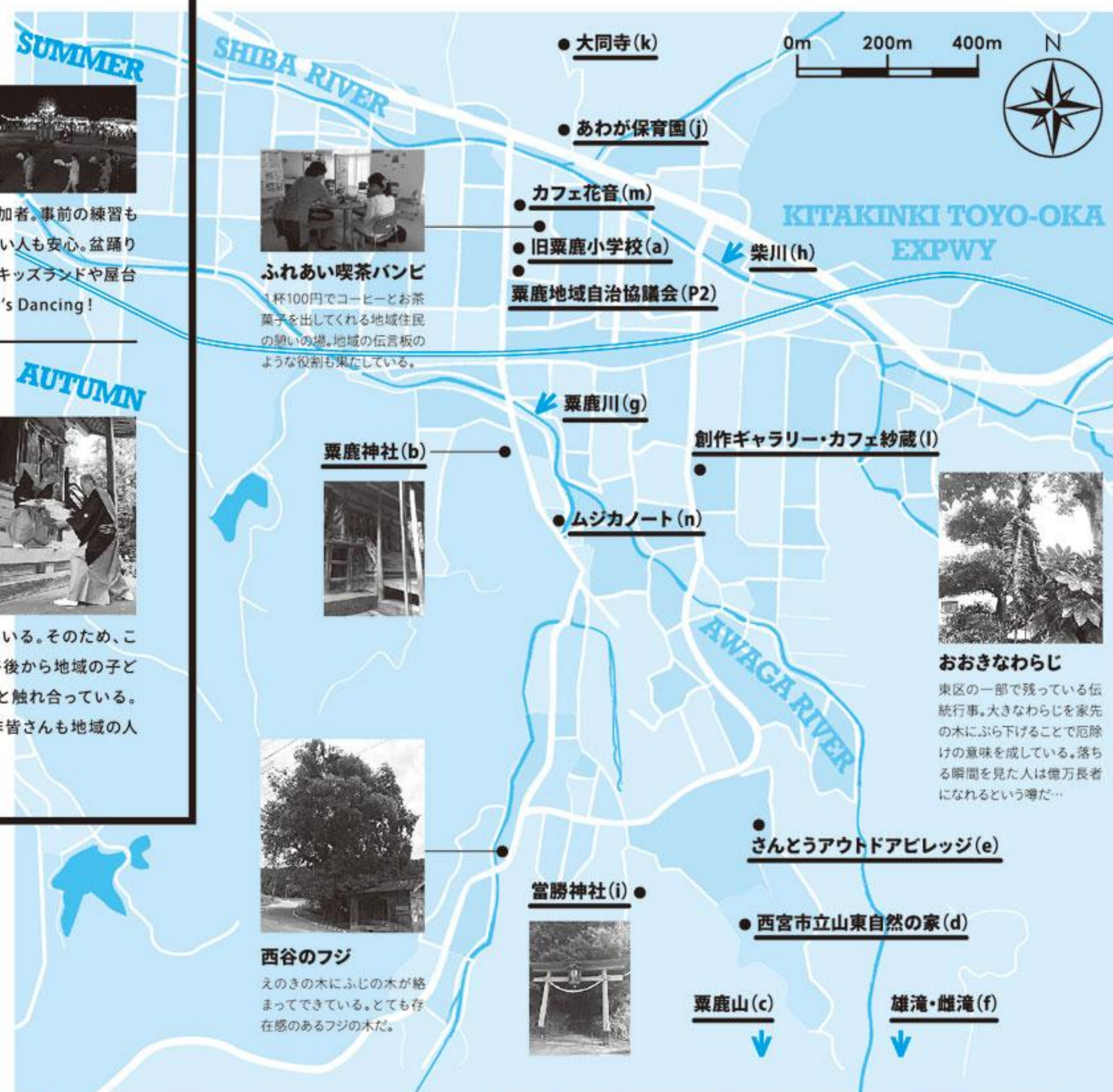
粟鹿神社(b)で10月17日に行われる350年以上続く伝統行事。正式名称では「瓶子渡」だ。地域当人は、見物客を楽しませるように声がけを工夫している。伝統あるサアゴザレで歴史の重みを感じてもらい、後世にずっと伝えていきたいと考えられている。そのため、この日は小学校も午前中で終了し、午後から地域の子どもたちが相撲に参加して伝統行事と触れ合っている。13時半から始まるサアゴザレ。是非皆さんも地域の人と一緒に声をかけてみよう!



ふれあい喫茶パンビ
1杯100円でコーヒーとお茶菓子を出してくれる地域住民の優しい場。地域の伝言板のような役割も果たしている。



西谷のフジ
えのきの木にふじの木が絡まってできている。とても存在感のあるフジの木だ。



PERSON of AWAGA

こうちゃん先生



モットーは、「人生を面白おかしく過ごすこと。」だ。ご自身が園長を務めるあわが保育園(j)のイベントにご自身の大好きなキャラクターの着ぐるみを着て子供達も笑顔。子ども達や先生だけでなくこうちゃん先生の周りには年代関係なく笑顔が溢れる。実際に会って話すととても気さくで取材している私達も笑顔になった。粟鹿山(c)を一望できる大同寺(k)を訪れる際には粟鹿の名園園長先生にぜひ会ってみては?

岡夫妻



「まずは自分が楽しむ」というモットーで創作ギャラリー・カフェ紗蔵(l)を運営している岡夫妻。優しくお話ししやすい岡夫妻と、こだわりのあるギャラリー、店から見える壮大な粟鹿山(c)を見ながらゆっくりと贅沢な時間が過ごせる。お客さん同士が相席をする場をあえて作ったことで、お客さん同士のコミュニケーションが生まれ、「人との繋がりが財産になった」と岡夫妻は語る。もちろん、訪れるお客さんもそれを楽しみに訪れている。

増田夫妻



単身赴任で地元を離れていた時の上司から「退職後は、地域に役立つ人生にしたい」との言葉が耳に残り、自分にできることは何かと考えた結果、趣味を活かしたカフェを始めた。地域活動にも積極的に参加し、柴川(h)での花見や盆踊り大会、夏祭り等のイベントに参加。地区の夏祭りでは、おやじバンドで盛り上げ、それを見た中学生が自分達もやりたいとの申し出に繋がったことで、若い世代が積極的に地域行事に参加しようとする姿勢に感動されていた。カフェ花音(m)は、幼児からお年寄りまで幅広い層のお客さまにご利用していただくためにバリアフリーにするなど、長い時間おしゃべりをしていても楽しくゆっくりできる空間になっている。

山本夫妻



ミュージシャン同士の交流が盛んにおこなわれ「北近畿のミュージシャンのパイプ役」の場として遠方の人からも親しまれているライブハウス・カフェのムジカノート(n)を運営している山本夫妻。ライブを開催するたびに、ライブを聞きに来るお客さん同士が自然につながり、新たなセッションが生まれるなど、人と人をつなぎ、新たな活動がどんどんと生み出されている。今では、北近畿のミュージシャンにとっては欠かせない場になっている。

粟鹿地域について 面積:約13.9km2 人口:1,196人 (住民基本台帳:H29.2月末)	お問い合わせ(粟鹿地域自治協議会) 079-676-2720 HP >> asago-net.jp /users/awaga-home/
---	--

画家とアクセサリー作家の二人展 「雨宿りーひとしずくの風景ー」

画家(下田優里)とアクセサリー作家(安保尚子)の2人展。同級生でもある2人が、絵画とアクセサリーのジャンルを交えて、美しくあたたかい冬の情景を表現します。オープンしたばかりの「KOUBA」で開催する展示会へぜひ、遊びにいらしてください。詳細は、KOUBAホームページ(kouba-asago.com)で後日公開します。

【日時(予定)】12月16日(土)~12月23日(土)
【場所】ASAGOiNG Garden KOUBA
(旧竹田保育所)
【参加申込】参加無料・申込不要
【問】kouba-asago.com/contact/

ファミリー子育て教室

妊婦さんから、幼い子どもを持つお父さんお母さんのための講演会を開催します。講師は、『子育てハッピーアドバイス』の著者である明橋大二先生。子どもたちの自己肯定感を育む接し方など、“その子らしさ”を大切にできる子育てのヒント一緒に探しませんか?当日、子連れもOK、一時預かりもあります。お気軽にご参加ください。

【日時】1月13日(土)14:00~16:30
【場所】和田山ジュピターホール
【参加申込】参加無料・申込不要
【問】079-672-1492
(朝来市役所あさご暮らし応援課)

兵庫県北部・鳥取県東部合同 移住セミナー

ゲストハウスや店舗などの拠点を持つ先輩移住者をゲストとして、兵庫県や鳥取県での起業について具体的な相談ができるセミナー。軽食やドリンクの提供もあり、先輩移住者の「生の声」を和やかな雰囲気の中、聞いてみませんか?

【日時】2月3日(土)13:00~16:00
【場所】LARGO ラルゴ
(大阪市北区中之島三丁目2-4)
【参加申込】参加無料・申込不要
【問】079-672-1492
(朝来市役所あさご暮らし応援課)

あなたはまちの未来 ASAGOiNG

まちは全て、誰かの「やってみよう」からできています。
特にオープンマインドな朝来市は、「やってみよう」が多いまち。
目を凝らせば、あなたの周りにも「やってみよう」がいっぱい見つかるはず。
何かを頑張っている人を見ると、ちょっと嬉しい。
そんな人を応援できたら、もっと嬉しい。
自らやろうと思って実現できたら、そりゃもう毎日が楽しくなる。
そんなあなたの「やってみよう」を応援しています。

少子高齢化、人口減少が進むなかで、朝来市の次の10年、20年を創りあげていく若い人たちに、「このまちが好きだな」と思ってもらいたい。好きになって住み続けてもらいたい。そんな「気持ちに届く」シティプロモーションが「あなたはまちの未来 ASAGOiNG」。他の誰でもない市民一人ひとり、「あなた」が主役となって朝来市の魅力を届けるシティプロモーションを目指しています。



ACCESS

自動車をご利用の場合

大阪・京都より約2時間
神戸より約1時間30分

鉄道をご利用の場合

大阪・京都・神戸より
特急で約2時間

あとがき

最近はずっと寒さが増して、冬の気配を感じますね。私は移住して2年目の冬なので寒さ想像できますが、去年のような大雪が降るかもと思うと怖いです笑。さて、今回のASAGOiNGでは神戸学院大学から朝来市にインターンシップとして来ていた学生さん2人に参加をしていただきました^^粟鹿地域のページは2人による取材、執筆になっております♪彼らが地域の人に触れ合い、肌で感じた粟鹿地域。魅力たっぷりでお届けしています♪今号も取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました!

発行日:2017年12月5日

発行元:朝来市あさご暮らし応援課 TEL 079-672-1492
〒669-5292 兵庫県朝来市和田山町東谷213-1

企画/編集:Team ASAGOiNG

テキスト:SHIHO、神戸学院大学インターンシップ生
アートディレクション/デザイン:木村淳